

- 問1 1858年に結ばれ、横浜などの港を貿易港として開港するきっかけとなった日米修好通商条約の内容について、当時の日本にとって不平等であったとされる制度の仕組みとして、正しい説明を一つ選びなさい。（2024年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 下田と函館の2港に限定して開港し、それ以外の地域での貿易を禁止したこと | 2. 日本が輸出品に対して自由に高い税金をかけることができる「関税自主権」を獲得したこと | 3. キリスト教の布教を公認する代わりに、日本側に有利な貿易品目を選定させたこと | 4. 日本国内で罪を犯した外国人をその国の領事が裁く「領事裁判権」を認めたこと |
|--|--|--|---|
- 問2 19世紀前半、日本の对外政策を批判した知識人の動きとその背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. イギリスの軍艦が長崎に侵入したフェートン号事件をきっかけに、幕府は攘夷の徹底を主張する武士たちを弾圧した。 | 2. 漂流民の保護という目的を持った非武装の外国船を攻撃した幕府の対応を、世界の情勢を知る蘭学者が批判した。 | 3. オランダ国王による開国の勧告を拒否した幕府に対し、通商の重要性を説く商人たちが全国的な一揆を起こした。 | 4. 鎖国の継続を主張する保守的な幕臣たちが、異国船打払令の廃止を求めて立ち上がった。 |
|--|--|--|---|
- 問3 産業革命期の動力技術は、のちに交通手段の革新にもつながりました。蒸気機関を交通手段に応用した事例として、正しい人物と成果の組み合わせを選びなさい。（2019年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------|----------------------|--------------------|----------------------|
| 1. スティーブンソンによる蒸気機関車の実用化 | 2. フォードによるガソリン自動車の量産 | 3. エディソンによる電気鉄道の敷設 | 4. ライト兄弟による有人動力飛行の成功 |
|-------------------------|----------------------|--------------------|----------------------|
- 問4 1854年、アメリカのペリーが再び来航した際に江戸幕府が締結し、静岡県の下田と北海道の箱館（函館）の2港を開くことを定めた条約は何ですか。（2017年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 日米修好通商条約 | 2. 日清修好条規 | 3. 日露和親条約 | 4. 日米和親条約 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
- 問5 1860年代後半、薩摩藩や長州藩が武力による倒幕を目指す動きを強める中で、江戸幕府の第15代将軍である徳川慶喜が行った、約260年続いた江戸幕府を終わらせる契機となった行動はどれですか。（2017年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|
| 1. 土地と人民を天皇に返す版籍奉還を求めた。 | 2. 朝廷と幕府が協力する公武合体を推進した。 | 3. 藩を廃止して県を置く廃藩置県を宣言した。 | 4. 政権を天皇に返上する大政奉還を行った。 |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|
- 問6 江戸幕府の第15代将軍である徳川慶喜が「大政奉還」を行った背景や目的の説明として、最も適切なものはどれですか。（2023年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 武力による倒幕を目指す勢力の口実をなくし、天皇を中心とした新しい政治体制の中で徳川家が実権を維持しようとした。 | 2. 関白や摂政といった古い役職を廃止し、総裁・議定・参与の三職を置く新たな政府を樹立することを目的とした。 | 3. 欧米列強との不平等条約を改正するために、幕府の権限をすべて天皇に譲渡して責任を回避しようとした。 | 4. 全国の藩主に対して土地と人民を天皇に返還させ、天皇が全国を直接統治する仕組みを整えるために行った。 |
|--|--|---|--|
- 問7 産業革命は人々の生活に豊かさをもたらした一方で、急速な都市化に伴う深刻な社会問題も引き起こしました。当時のイギリスの工業都市で発生した社会問題の説明として、適切なものはどれですか。（2023年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1. 労働者が集中したことによる住宅不足や、不衛生な環境による生活環境の悪化 | 2. 農村部での労働力不足により、国内の食料自給率が極端に高まりすぎたこと | 3. 工場での生産が過剰になり、すべての製品が売れ残って都市が廃墟化したこと | 4. 都市部の地価が高騰しすぎて、すべての工場が再び農村部へ移転したこと |
|--|---------------------------------------|--|--------------------------------------|
- 問8 徳川慶喜が、土佐藩などの勤めに従って大政奉還を行った最大の目的として、最も適切な背景の説明はどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 武力による幕府打倒を目指す薩摩藩や長州藩に対して、全面的に降伏して政治から引退することを表明するため | 2. 政権を一度朝廷に返上した上で、徳川家を中心となる有力大名の合議制による新しい政治体制を築こうとしたため | 3. 江戸幕府の仕組みをそのまま維持しながら、天皇の権威を借りて外国勢力を排除する攘夷を実行するため | 4. 土地や人民をすべて朝廷に返すことで、地方の有力大名が持つ特権をすべて廃止し、中央集権国家を完成させるため |
|---|--|--|---|
- 問9 1837年に元幕臣の大塩平八郎が大阪で反乱を起こした時期から、1860年に大老が暗殺されるまでの江戸幕府の動向について、時期が最も古い出来事を選択肢から選びなさい。（2026年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 江戸城の門外で大老の井伊直弼が水戸浪士らに殺害される桜田門外の変が起きた。 | 2. 井伊直弼が勅許を得ないまま日米修好通商条約に調印した。 | 3. 水野忠邦が株仲間解散や人返しなどの法を含む天保の改革を実施した。 | 4. アメリカのペリーが軍艦を率いて浦賀に来航し、開国を要求した。 |
|--|--------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
- 問10 幕末の政治情勢において、大老の井伊直弼による反対勢力の弾圧と、その反動として発生した井伊直弼暗殺事件、および薩摩藩が外国の軍勢力を痛感し方針転換するきっかけとなった出来事を、発生した順に正しく並べたものはどれですか。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 安政の大獄 → 桜田門外の変 → 薩英戦争 | 2. 安政の大獄 → 薩英戦争 → 桜田門外の変 | 3. 薩英戦争 → 安政の大獄 → 桜田門外の変 | 4. 桜田門外の変 → 安政の大獄 → 薩英戦争 |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
- 問11 幕末、武力による倒幕の動きが強まるなか、江戸幕府の第15代将軍が政権を朝廷に返上した歴史的事項を何とといいますか。（2021年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-------------|---------|---------|
| 1. 版籍奉還 | 2. 王政復古の大号令 | 3. 廃藩置県 | 4. 大政奉還 |
|---------|-------------|---------|---------|
- 問12 1867年、江戸幕府がパリ万国博覧会へ参加し、幕府や薩摩藩が独自に出品を行っていた時期、国内の政治状況は大きな転換点を迎えました。第15代将軍であった徳川慶喜が、政権を朝廷に返上したこの出来事の名称として、最も適切なものはどれですか。（2022年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|-------------|---------|
| 1. 廃藩置県 | 2. 版籍奉還 | 3. 王政復古の大号令 | 4. 大政奉還 |
|---------|---------|-------------|---------|
- 問13 幕末、長崎のオランダ商館を通じて提出される「風説書」などにより、幕府は海外情勢を把握していました。1844年に、アヘン戦争での清の敗北といった世界情勢の変化を背景に、江戸幕府に対して正式に「開国勧告」の親書を送った人物は誰ですか。（2019年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|------------|---------|-----------|
| 1. ロシア皇帝 | 2. アメリカ大統領 | 3. 清の皇帝 | 4. オランダ国王 |
|----------|------------|---------|-----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 日本国内で罪を犯した外国人をその国の領事が裁く「領事裁判権」を認めたこと	日米修好通商条約には、外国人が日本で犯罪を犯しても日本の法律で裁けない「領事裁判権（治外法権）」の容認と、日本が輸入品にかかる税率を自由に決められない「関税自主権の欠如」という、二つの大きな不平等条項が含まれていました。これにより、日本の主権が制限され、安価な外国製品の流入による国内産業への影響が生じることとなりました。これらの改正は、明治以降の日本外交の最重要課題となりました。
問2	答え 2 漂流民の保護という目的を持った非武装の外国船を攻撃した幕府の対応を、世界の情勢を知る蘭学者が批判した。	1830年代の日本では、モリソン号事件を通じて、幕府の無差別な「異国船打払令」の実行が国際的なトラブルを招く危険性が露呈しました。高野長英や渡辺崋山などの蘭学者は、海外情勢の知識に基づき、人道的な目的を兼ねた船まで攻撃する幕府の姿勢を批判しましたが、保守的な幕府はこれを体制への反逆とみなして処罰しました。これが、言論弾圧事件である蚕社の獄です。
問3	答え 1 スティーブンソンによる蒸気機関車の実用化	ワットが改良した蒸気機関は、工場の機械だけでなく輸送手段にも応用されました。イギリスのスティーブンソンが蒸気機関車を実用化し、鉄道網が整備されたことで、大量の物資や人間を高速で運ぶことが可能になり、経済の仕組みが大きく変化しました。
問4	答え 4 日米和親条約	ペリーの来航を受けて締結されたこの条約により、日本は約200年続いた鎖国政策を終えて開国しました。この条約では、遭難した船員の救護や、船への薪水（燃料や水）・食料の供給を目的として、下田と箱館の2港を開くことが決められましたが、この段階ではまだ自由な貿易は認められていませんでした。
問5	答え 4 政権を天皇に返上する大政奉還を行った。	徳川慶喜は、倒幕派による武力攻撃の口実をなくすため、自ら政権を朝廷に返上しました。これにより武家政治の時代が終わり、新政府への移行が始まりましたが、徳川家は依然として政治的影響力を残そうと考えていました。
問6	答え 1 武力による倒幕を目指す勢力の口実をなくし、天皇を中心とした新しい政治体制の中で徳川家が実権を維持しようとした。	当時の徳川慶喜は、倒幕派による武力行使を避けるため、形式的に政権を朝廷へ返上しました。その狙いは、天皇のもとに諸藩の代表が集まる議会形式の政治体制を作り、その中で最大の勢力である徳川家が政治の主導権を握り続けることにありました。なお、土地と人民を返上させるのは「版籍奉還」、三職の設置は「王政復古の大号令」に関する記述であり、大政奉還とは時期や内容が異なります。
問7	答え 1 労働者が集中したことによる住宅不足や、不衛生な環境による生活環境の悪化	仕事を求めて多くの労働者が都市部に流入したため、急激な人口増加に都市の整備が追いつかず、深刻な住宅不足が発生しました。また、煙突から出る煙による大気汚染や、排水による水質汚濁といった生活環境の悪化は、当時の社会に大きな影響を与えました。
問8	答え 2 政権を一度朝廷に返上した上で、徳川家が中心となる有力大名の合議制による新しい政治体制を築こうとしたため	慶喜は、武力による討幕を計画していた薩摩・長州に対して、自ら政権を返上することで討伐の名目を奪おうとしました。政権返上後も、徳川家が広大な領地を維持したまま、有力大名による会議（諸侯会同）のリーダーとして実権を握り続けることを狙っていました。
問9	答え 3 水野忠邦が株仲間の解散や人返しの法などを含む天保の改革を実施した。	大塩平八郎の乱（1837年）による社会不安や飢饉に対応するため、1841年から水野忠邦によって天保の改革が行われました。その後、1853年のペリー来航、1858年の日米修好通商条約調印、1860年の桜田門外の変へと続きます。1860年には万延元年の遣米使節も派遣されていますが、国内の政治的混乱はこれ以降さらに激化することになります。
問10	答え 1 安政の大獄 → 桜田門外の変 → 薩英戦争	大老の井伊直弼は、日米修好通商条約の無断調印などに反対する人々を「安政の大獄」で厳しく弾圧しました。これに反発した水戸藩の元藩士らが、1860年に「桜田門外の変」を起こして井伊を暗殺し、幕府の権威は大きく失墜することになります。その後、生麦事件の報復として1863年に発生した「薩英戦争」で、薩摩藩はイギリスの圧倒的な軍事力を目の当たりにし、武力による攘夷の不可能を悟って、イギリスへの接近と倒幕への道を選択しました。
問11	答え 4 大政奉還	1867年、江戸幕府の第15代将軍である徳川慶喜が、政権を朝廷に返上しました。これは、倒幕派が武力で幕府を倒そうとする動きを抑えるとともに、徳川家为新政府においても主導権を握ることを目的としたものでした。明治政府成立後に行われた、土地と人民を朝廷に返上させた「版籍奉還」との混同に注意が必要です。
問12	答え 4 大政奉還	徳川慶喜が1867年に政権を朝廷に返上した歴史的事件を大政奉還といいます。この時期、幕府は国際社会へのアピールとしてパリ万博に参加していましたが、国内では倒幕運動が高まっていました。紛らわしい用語である「版籍奉還」は1869年に明治政府が実施した土地と人民の返還を指し、「王政復古の大号令」は大政奉還の直後に倒幕派が発した、幕府の廃止と天皇中心の新政府樹立を宣言したものです。
問13	答え 4 オランダ国王	1844年、オランダ国王のウィレム2世は、強大化した欧米列強が日本へ迫ることを予見し、江戸幕府の徳川家慶に対して親書を送りました。幕府はこの勧告を最終的には拒否しましたが、オランダ商館長が提出する「オランダ風説書」などを通じて、アヘン戦争の推移や清の敗北、そして欧米諸国の動向といった最新情報は詳細に把握していました。